列島保全への課題

日本人を育んだ国土の地理的条件・自然条件①

複雑で長い海岸線と細長い弓状列島　四島に分かれた国土の主要部分

日本に住む日本人のほとんどはこの日本国土に生まれ、その環境の下で育ってきた。私たちの長い歴史はこの国土の上で展開してきた。従って、この国土のもつ地理的条件・自然条件は、日本人の感性や自然観、あるいは社会観を育んできたし、私たちの思想をも育ててきたと言える。この日本国土の上で、私たちが経験した自然災害や飢饉やそれに対する私たちの処し方が、日本人の思考の型を育んだことも間違いない。今号から数回に分けて、わが国の地理的条件・自然条件について理解を深めたいと思う。

日本人の感性や自然観、社会観に影響

厳しい環境どう克服

不便な形

私たちが暮らす国土の地理的条件・自然条件については、私たちは十分理解しているつもりである。だが、日本の国土だけを対象にしたのでは、理解したことにはならない。わが国土の自然条件の特徴を理解するには、わが国以外の国土の地理的条件・自然条件についての知識がなければならない。

わが国が経済的に競争するヨーロッパの中心部や北アメリカ、中国の中原部あたりとの比較の中で、わが国の国土条件の特徴を列記すると、彼らにはない厳しい自然条件が私たちに与えられていることが分かる。

第1の特徴は、わが国は複雑で長い海岸線をもつ細長い弓状列島であることだ。図は、日本をヨーロッパの中心部に重ねたもので、細長い特徴がよく理解できる。

日本列島の最大幅は250キロ程度しかないが、列島の東北端から南西端までは直線距離でも3300キロに達する極めて細長い地形をしている。

これは、地域間で連携するにも、農産物や工業生産物を移送するにも、極めて長い距離を克服しなければならないことを現している。フランスやドイツ・アメリカ・中国といった国が、かなり円に近い形なのとは大きな違いだ。

これらの国では中心部に拠点を置けば、全土の各地と放射状に結ぶことでつながり合える。フランスでは国土の中心にあるパリの空港、ドイツではフランクフルトの空港、アメリカではシカゴやアトランタの空港が、それぞれハブ空港になり得ている。わが国ではそうはいかない。

アメリカを超える日本の海岸線延長

日本の海岸線の延長はアメリカを超えるといわれるが、これは海岸線が極めて複雑であることを示している。陸は海にせり出し、海は陸にくい込んでいる。それが白砂青松と称する美しい海岸風景を生んでいる。しかし、ここに交通路を整備しようとすると、三陸海岸の国道45号や紀伊半島の国道42号のようにカーブだらけの道路となって、快適な速度では走れない生活上の不便を生んでいる。

一体で使いにくい

2番目に、国土の主要部だけでも四島に分かれ、加えて沖縄諸島など数多い島嶼部をもっている特徴がある。本州と九州の間には1944年に関門トンネルが完成したが、四島全体を結んで一体的に使えるようになったのは88年になってからだ。

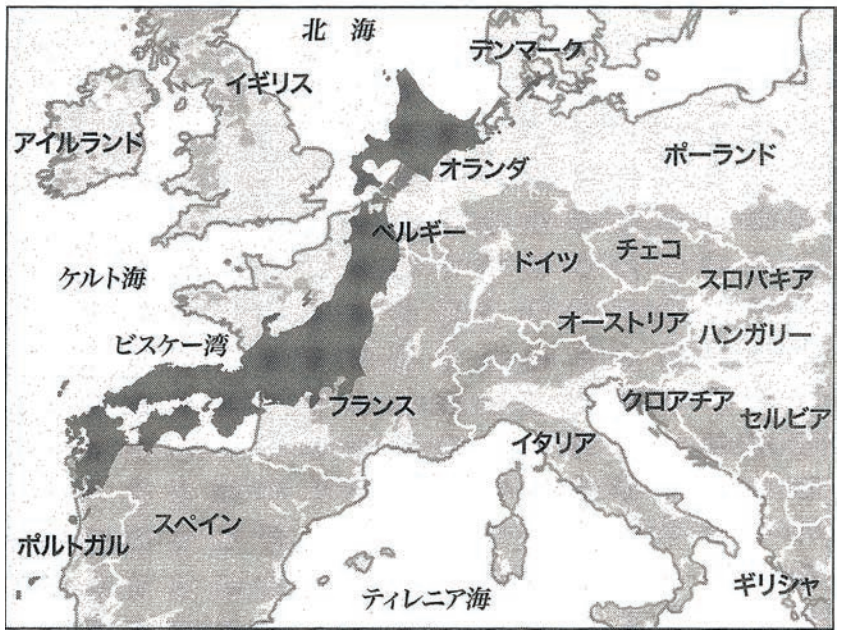
青森～函館間の青函トンネルで北海道が本州と結ばれ、本四道路の瀬戸中央自動車道が児島～坂出間に完成して、四国と本州がつながって、やっとわが国は一体的な利用を成し遂げたのである。

海底トンネルや大径間の吊り橋開発

国土全体を一体的に利用して全国的な物流・人流・商流の網を整備するには、世界最長の海底トンネルを掘り、大径間の吊り橋を開発するなど大変な苦労が必要だった。

ヨーロッパ諸国や中国・アメリカなどがこうした努力をすることなく、国土を一体的に使えるのに比べ、極めて厳しい条件を私たちに突きつけているのである。

日本とヨーロッパの国土の大きさの違い



碑（いしぶみ）の記憶⑩

金刀毘羅神社の3碑

岩手県久慈市湊町

岩手県久慈市湊町の金刀毘羅神社に、津波記念碑、防潮林記念碑、昭和八年津浪記念碑が建つ。

津波記念碑は「自然界における災害のなかで津波ほど悲惨なものはない。過去において当市に襲来した記録は18回に及び特に明治29年、昭和8年は死者総数538人、負傷者267人、家屋流失185戸を数え想起するだに慄然たるものがある。われわれは殉難者の霊を慰めると共に宿命的な惨事を再び繰り返えさぬことを祈念してやまない」と記す。

防潮林記念碑は「明治29年、昭和8年の海嘯惨害の甚大なるに鑑み、時の政府は防止策として防潮林造成の最も経済的かつ効果的なるを認め国庫補県営事業として計画を樹立せり。しかし当部落は耕地少くかつ住家多く、用地の承諾を得るに困難なりしも、県当局は勿論、町並びに部落有志者の援助の基に昭和12年10月、事業に着手し面積3町余里、黒松2万3千本栽植、翌年3月竣工せり」と記録。

昭和八年津浪記念碑には、大津浪　くぐりてめげぬ　雄心持て　いざ追ひ進み　まい上らまし　英彦

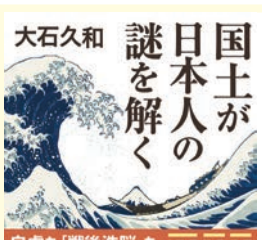
の歌が刻まれている。

参考：国交省東北地方整備局道路部HP「津波被害・津波石碑情報アーカイブ」

二つの津波記念日と防潮林記念碑（右端）

国土が日本人の謎を解く

大石久和著



本書は、わが国の地理的条件・自然条件だけでなく、われわれ日本人は何を経験し、何を経験しなかったのか？それはヨーロッパやアメリカ、中国の人々とどう異なっているのか？について学ぶことの出来る好著。

発行：産経新聞出版
定価：1300円＋税